



## 2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月12日

上場会社名 TOYOTA TIRE株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5105 URL <https://www.toyotires.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 隆史  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 笹森 建彦 TEL 072-789-9100  
 コーポレート統括部門管掌  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第3四半期の連結業績 (2021年1月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	282,808	14.6	39,663	79.9	41,781	141.9	28,866	188.9
2020年12月期第3四半期	246,823	△11.1	22,046	△16.7	17,271	△26.8	9,991	△29.8

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 45,935百万円 (—%) 2020年12月期第3四半期 1,182百万円 (△89.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	187.52	—
2020年12月期第3四半期	64.91	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	495,077	259,438	52.4
2020年12月期	445,579	222,694	49.5

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 259,222百万円 2020年12月期 220,776百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2021年12月期	—	20.00	—		
2021年12月期 (予想)				25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	392,000	14.0	48,000	32.1	49,600	60.6	32,800	180.8	213.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.8「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	154,111,029株	2020年12月期	154,111,029株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	171,779株	2020年12月期	177,702株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	153,937,349株	2020年12月期3Q	153,930,390株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは異なることがありますことをご承知おきください。業績予想の背景及び前提となる条件等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ① 当期の経営成績

当第3四半期連結累計期間における経済環境について、米国では、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けたワクチン接種により、経済活動は持ち直しが見られており、生産・消費などの主要指標は底堅さを保っております。欧州では、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けたワクチン接種により、経済活動は持ち直しがみられていたものの、経済活動再開に伴う回復が一巡し消費者マインドが横ばい基調に変わりつつあります。わが国では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進する中で持ち直しの動きが続くことが期待されております。

このような状況のもと、当社グループは2021年を起点とする5ヵ年の中期計画「中計'21」を策定し、その中で掲げた各種経営指標を実現するため、これまで培ってきた得意分野や独自性、研鑽してきた機能別組織機能、変革・強化を図ってきたガバナンスやコンプライアンス体制をベースに置きながら、取り巻く変化に迅速、かつ柔軟に適応する力を当社グループ全体で強化することに取り組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は282,808百万円（前年同期比35,984百万円増、14.6%増）、営業利益は39,663百万円（前年同期比17,617百万円増、79.9%増）、経常利益は41,781百万円（前年同期比24,509百万円増、141.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は28,866百万円（前年同期比18,874百万円増、188.9%増）となりました。

事業別の状況は次のとおりであります。

## ② 事業別の状況

## (タイヤ事業)

北米市場における市販用タイヤについては、OPEN COUNTRY A/TIII（オープンカントリー・エーティー・スリー）やNITTO Ridge Grappler（ニットー リッジグラップラー）など当社が強みとしている大口径ライトトラック用タイヤやSUV用タイヤを中心に引き続き販売が好調であり、販売量は前年度を大きく上回りました。また、売上高は値上げによる相乗効果もあり、販売量以上に前年度を大きく上回りました。

欧州市場における市販用タイヤについては、採算性を意識した供給戦略の継続、並びに物流遅延等の影響により、販売量は前年度を下回りましたが、値上げや商品ミックスの改善により、売上高は前年度並みとなりました。

国内市場における市販用タイヤについては、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、当社が強みとしているSUV用タイヤの販売に注力し、販売量は前年度を大きく上回り、売上高も前年度を上回りました。

新車用タイヤについては、新型コロナウイルス感染症や半導体不足による自動車メーカーの減産の影響を受けたものの、販売量、売上高ともに前年度を上回りました。

その結果、タイヤ事業の売上高は253,968百万円（前年同期比33,278百万円増、15.1%増）、営業利益は41,161百万円（前年同期比17,134百万円増、71.3%増）となりました。

## (自動車部品事業)

自動車用部品については、半導体不足による自動車メーカーの減産の影響を受けたものの、自動車部品事業の売上高は28,816百万円（前年同期比2,718百万円増、10.4%増）と前年度を大きく上回り、営業損失は1,497百万円（前年同期は1,980百万円の営業損失）となりました。

## ③ 当社免震ゴム問題に係る製品補償対策費及び製品補償引当金繰入額の状況

2015年12月期において、出荷していた製品の一部が国土交通大臣認定の性能評価基準に適合していない等の事実が判明いたしました。

当第3四半期決算において、製品補償対策費851百万円（主として、免震ゴム対策統括本部人件費等）

を特別損失として計上しております。

現時点で合理的に金額を見積もることが困難なもので、今後発生する費用（主として、営業補償や遅延損害金等の賠償金、追加で判明する改修工事費用の金額が既引当額を超過する場合の費用等）がある場合には、翌四半期連結会計期間以降の対処進行状況等によって、追加で製品補償引当金を計上する可能性があります。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は495,077百万円となり、前連結会計年度末に比べ49,498百万円増加しました。これは、主として、たな卸資産等や有形固定資産が増加したことによります。

また、負債は235,638百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,753百万円増加しました。これは、主として長期借入金の返済や免震問題に係る対応の進捗により製品補償引当金が減少した一方、商業・ペーパーの増加や社債の発行により社債が増加したことによります。なお、有利子負債は125,492百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,913百万円増加しました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は259,438百万円となり、前連結会計年度末に比べ36,744百万円増加しました。これは、主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金、円安の影響により為替換算調整勘定が増加したことによります。

この結果、自己資本比率は52.4%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2021年8月10日公表の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	37,650	45,599
受取手形及び売掛金	72,598	75,470
商品及び製品	40,061	50,731
仕掛品	3,030	3,618
原材料及び貯蔵品	12,690	18,421
その他	15,050	16,265
貸倒引当金	△343	△356
流動資産合計	180,739	209,750
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	62,309	64,776
機械装置及び運搬具（純額）	92,574	100,578
その他（純額）	45,823	52,913
有形固定資産合計	200,707	218,268
無形固定資産		
その他	4,851	5,686
無形固定資産合計	4,851	5,686
投資その他の資産		
投資有価証券	39,986	49,978
その他	19,398	11,497
貸倒引当金	△104	△103
投資その他の資産合計	59,280	61,372
固定資産合計	264,839	285,327
資産合計	445,579	495,077

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,666	27,791
コマーシャル・ペーパー	6,000	26,500
短期借入金	16,200	13,673
未払金	21,580	12,623
未払法人税等	1,766	9,346
製品補償引当金	9,192	5,172
その他	24,236	31,433
流動負債合計	108,643	126,540
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	86,010	73,060
退職給付に係る負債	5,437	5,935
製品補償引当金	9,126	5,138
その他の引当金	100	101
その他	13,567	14,864
固定負債合計	114,242	109,098
負債合計	222,885	235,638
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,935	55,935
資本剰余金	54,504	54,330
利益剰余金	90,866	112,635
自己株式	△146	△143
株主資本合計	201,159	222,758
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,086	26,535
繰延ヘッジ損益	3	△31
為替換算調整勘定	△2,609	6,919
退職給付に係る調整累計額	3,136	3,040
その他の包括利益累計額合計	19,616	36,463
非支配株主持分	1,918	216
純資産合計	222,694	259,438
負債純資産合計	445,579	495,077

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
売上高	246,823	282,808
売上原価	161,139	168,185
売上総利益	85,683	114,622
販売費及び一般管理費	63,637	74,958
営業利益	22,046	39,663
営業外収益		
受取利息	245	221
受取配当金	853	863
為替差益	—	3,383
持分法による投資利益	56	145
その他	1,348	1,083
営業外収益合計	2,503	5,697
営業外費用		
支払利息	1,411	1,064
為替差損	3,490	—
その他	2,376	2,514
営業外費用合計	7,278	3,579
経常利益	17,271	41,781
特別利益		
投資有価証券売却益	1,265	357
特別利益合計	1,265	357
特別損失		
固定資産除却損	295	428
投資有価証券売却損	—	92
減損損失	270	639
製品補償対策費	1,983	851
製品補償引当金繰入額	261	—
新型コロナウイルス感染症による損失	1,589	381
特別損失合計	4,399	2,392
税金等調整前四半期純利益	14,137	39,746
法人税等	4,099	10,745
四半期純利益	10,038	29,001
非支配株主に帰属する四半期純利益	46	134
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,991	28,866



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	10,038	29,001
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,081	7,449
繰延ヘッジ損益	16	△35
為替換算調整勘定	△4,659	9,460
退職給付に係る調整額	△120	△95
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	156
その他の包括利益合計	△8,855	16,934
四半期包括利益	1,182	45,935
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,142	45,714
非支配株主に係る四半期包括利益	40	221

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

## 税金費用の計算

一部の連結子会社を除き、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## (追加情報)

## 新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

## (セグメント情報)

## 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	タイヤ事業	自動車 部品事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	220,690	26,097	246,787	35	246,823	—	246,823
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	57	57	△57	—
計	220,690	26,097	246,787	93	246,880	△57	246,823
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	24,026	△1,980	22,046	27	22,074	△27	22,046

当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	タイヤ事業	自動車 部品事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	253,968	28,816	282,784	23	282,808	—	282,808
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	39	39	△39	—
計	253,968	28,816	282,784	63	282,847	△39	282,808
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	41,161	△1,497	39,664	11	39,675	△11	39,663

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内関係会社に対する融資及び債権の買取、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、前第3四半期連結累計期間△27百万円、当第3四半期連結累計期間△11百万円であり、セグメント間取引消去等が含まれております。